

中心拠点病院の事業について

独立行政法人 国立病院機構 相模原病院臨床研究センター
センター長 海老澤 元宏

1.相模原病院 臨床研究センター40年以上の歴史

- 昭和48年（1973） リウマチ・アレルギー基幹施設に指定
- 昭和50年（1975） 国立病院において初の臨床研究部設置
- 平成11年（1999） 免疫異常（リウマチ・アレルギー）の高度専門医療施設（準ナショナルセンター）に指定
- 平成17年（2005） 厚生科学審議会にて我が国のリウマチ・アレルギー医療の中心的施設と明記される
- 平成26年（2014） アレルギー疾患対策基本法が立法化
- 平成29年（2017） 同基本法に成育医療研究センター（小児アレルギー）と
当院（小児・成人アレルギー）わが国の中心拠点病院として指定
- 平成29年（2017） WAO(世界アレルギー機構)においてCenter of Excellenceに指定

2.アレルギー中心拠点病院の事務局としての活動

●アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議の開催

拠点病院との情報共有、意見交換を行い医療の均てん化を図り、広域的な研究体制を整備構築する。

●A・B・C研修の実施

全国拠点病院の医療従事者への育成を行い、アレルギー疾患に関する医療の質の向上を行う。

●オンライン医療相談の実施

診断が困難な症例や難治性アレルギー患者の診療に対する相談やサポートを行い、全国拠点病院との連携協力体制を構築する。

●一般の方に向けたアレルギー医療相談の実施

アレルギー疾患患者とその家族の悩みや不安に的確に対応することにより、その生活の一層の支援を図ることを目的とする。

ホームページのリニューアル

「アレルギー医療の情報発信源」として、拠点病院の皆様にご活用
 いただく為、相模原病院 アレルギー中心拠点病院のホームページを
 リニューアル致しました。



各事業ごとにページを設け、わかりやすく、使いやすいホームページとなっております。



3.A研修（相模原臨床アレルギーセミナー）について

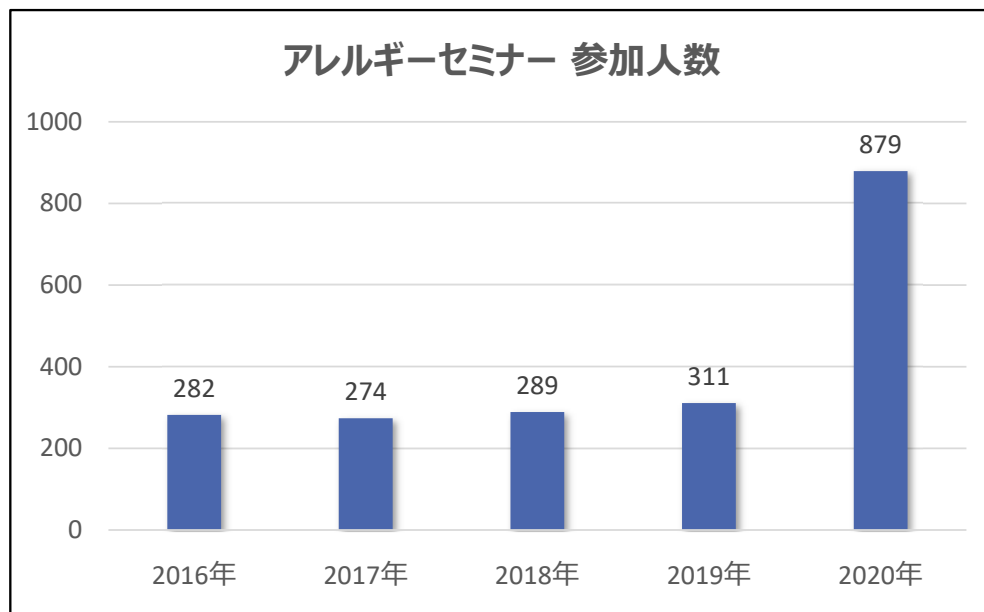
【設立経緯】

17年前に日本アレルギー学会WGの討議において、講習会形式での研修を相模原病院が担当となる。

【拠点病院の人材育成プラン】

5年前に国のアレルギー疾患対策基本法が制定され、厚労省と中心拠点病院（成育医療研究センターと国立病院機構相模原病院）が中心となり拠点病院の人材育成に関して検討。

当セミナーを第一段階の研修 = A研修に位置づけた。



- ・毎年300人前後が参加する国内最大級のアレルギーセミナー
- ・2020年度は社会情勢を鑑みてオンライン開催へ変更。開催期間が約一ヶ月間あったため、参加者が激増した
- ・2021年度もオンラインにて開催
【予定期間】2021年8月2日（月）～8月31日（火）

4.B研修：2週間の総合アレルギー研修（1）

小児・成人の枠を超えた共通常カリキュラムと、
小児もしくは成人アレルギーに特化したカリキュラムを実施する総合研修プログラムを実施します。

1週目

	月	火	水	木	金
AM	9:00～ 施設案内 (事務担当者) 10:00～ 共通 耳鼻科外来見学	共通 皮膚科外来見学	共通 成人食物アレルギー外来見学	共通 小児アレルギー初診外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導
経口免疫療法、皮下免疫療法（実施期間中のみ）					
PM	小児 講義： アレルギー疾患総論	共通 実習： アレルギーエキス作製 ※講義	小児 呼吸機能検査 小児アレルギー外来見学 ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 ※講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 アレルギー初診カンファレンス ※エピペン指導	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 ※講義
	成人 講義： アレルギー疾患総論		成人 講義：免疫学	成人 実習＋講義：アスピリン喘息とアスピリン負荷試験	成人 実習＋講義：アレルギー免疫療法

講義：
成人食物アレルギー総論、
成人喘息、ABPA、EGPA、
AERDなど
小児食物アレルギー、
小児喘息、
小児アトピー性皮膚炎

4.B研修：2週間の総合アレルギー研修（2）

2週目

	月	火	水	木	金
AM	共通 耳鼻科外来見学	共通 皮膚科外来見学	共通 成人食物アレルギー外来見学	共通 小児アレルギー初診外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 経口免疫療法、皮下免疫療法（実施期間中のみ） </div>					
PM	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎	共通 実習： 皮膚プリックテスト ※講義	小児 呼吸機能検査 小児アレルギー外来見学 ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 ※講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 アレルギー初診カンファレンス ※エピペン指導	小児 総括 修了証明書授与（事務担当者）
	成人 実習+講義： 呼吸機能検査と気道可逆性試験過敏性試験等		成人 講義：化学物質過敏症、重症喘息	成人 講義：抗原同定と抗原回避	成人 総括 修了証明書授与（事務担当者）

5.成人アレルギー：C/D研修

● 処遇および業務

- ・ アレルギー・呼吸器内科レジデントとしての病棟および外来業務
- ・ 臨床研究センター非常勤研究員（兼任）としての臨床研究業務
- ・ 長期研修であれば、当院勤務しながら学位取得も可能
（順天堂大学連携大学院（5年以上在職できる場合・入学試験あり）制度利用）

● 過去の実績（C, D研修あわせた年度別新規研修者数）

2016年度	3人
2017年度	4人
2018年度	1人
2019年度	1人
2020年度	2人

● 今後の募集案内

- ・ C, D研修ともに、次年度4月より最低1年間（前年度8月末までに要連絡）
 - ・ C, D研修は1年以内の短期研修は不可、長期研修は応相談
- ※多数の応募頂いた場合には、さらに次年度に繰り越させて頂く場合がございます

5.小児アレルギー：C/D研修（年平均3-6名）

対 象：卒後5年目以降の小児科医師

募集人数：各年度4-5名程度(先着順・地方拠点病院を優先)（前年度8月末までに要連絡）

実施期間・開始時期：1-3年間、4月(10月開始は要相談)

待 遇：レジデント、宿舎・保育所有、当直月2回、希望者外勤有

●研修の特徴

研修者全小児アレルギー疾患の最新の治療・臨床研究知識の習得

員に学会発表(国内・海外)、論文投稿の基礎徹底指導

熱心な指導医と充実した研修・教育システム・卒後フォローアップ

研修しながら最短3年で学位習得可能（順天堂大学連携大学院）



●レジデント1人当たり年間平均研修実績

- アトピー性皮膚炎のスキンケア・軟膏療法(入院10件担当)
- 食物経口負荷試験(300件以上担当)・経口免疫療法(12件担当)
- アレルギー疾患の診断・管理法(初診・再診200件担当)
- アレルゲン免疫療法(注射4-8件、舌下10-20件担当)
- 各種検査（皮膚テスト100件以上・呼吸機能検査100件以上）
- 重症気管支喘息の入院対応と長期管理(10-20件)

6.オンライン研修用コンテンツ (利用方法)



オンライン研修として、相模原病院医師による講義・手技をアレルギー中心拠点病院ホームページより配信致します。

● オンライン研修視聴方法

① **こちらをクリック**

国立病院機構 相模原病院
アレルギー中心拠点病院

SAGAMIHARA NATIONAL HOSPITAL 相模原病院
アレルギー中心拠点病院

アレルギー中心病院拠点とは？
アレルギー中心拠点病院とは「アレルギー疾患対策基本法」に沿って医療の提供体制の充実を図るために設けられ、厚生労働省より、相模原病院と、国立成育医療研究センターが中心拠点病院として指定されました。適切な医療提供を提供するほか、研究と専門的な知識と技術をもつた医療従事者の育成など基本指針に掲げられた各種個別の目標達成に資する事業を行うことを目的として各事業を実施しております。

活動紹介
アレルギー-電話相談
全国拠点病院連絡会議
オンライン研修相談 (医師向け)

② **「はい」をクリック**

あなたはアレルギー拠点病院の関係者ですか？

③ **「2.オンライン研修」をクリック**

④ **コンテンツ名をクリックすると動画が別タブで開き、再生できます。**

- * 動画を再生するにはID・パスワードが必要となります。
- * ID・パスワードは事務局より各拠点病院へお送りしますので、拠点病院内にて共有をお願い致します。
- * ID・パスワードの流失することの無い様お願い致します。

「相模原病院ホームページ」→「アレルギー中心拠点病院としての活動」からホームページに入れます。

6.オンライン研修用コンテンツ（成人領域）



- 1) 成人喘息急性増悪の背景とその対応
- 2) 妊娠期間中の喘息管理
- 3) 気管支喘息の抗体治療
- 4) アスピリン喘息の診断と治療 入門編
- 5) アスピリン喘息の診断と治療 応用編
- 6) EGPA（仮）
- 7) ABPM（仮）
- 8) 成人アレルギー疾患総論
- 9) 成人の食物アレルギー：入門編
- 10) 化学物質過敏症（仮）



成人3_気管支喘息の抗体治療



成人3_気管支喘息の抗体治療

目的 ステップ	治療ステップ			
	Step1	Step2	Step3	Step4
Step 1	242 (9.8%)	470 (19.8%)	472 (20.1%)	242 (10.0%)
Step2	38 (1.6%)	391 (16.1%)	239 (10.2%)	148 (6.1%)
Step3	8 (0.3%)	32 (1.3%)	73 (3.1%)	122 (5.1%)
Step 4	4 (0.2%)	2 (0.1%)	9 (0.4%)	48 (2.0%)

全体の約15%がステップ4の治療でも十分に症状がコントロールできていない

調査日: 2012.09.12 19:37-48 一般調査

成人3_気管支喘息の抗体治療

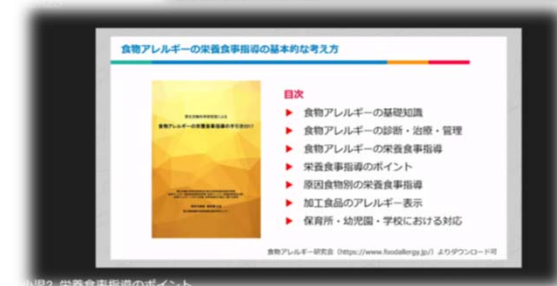
6.オンライン研修用コンテンツ（小児領域）



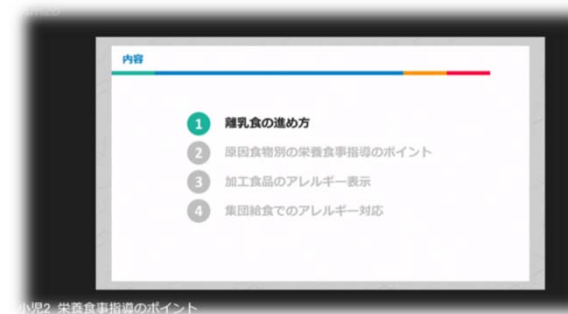
- 1) ガイドラインに基づく小児アトピー性皮膚炎診療の実践
- 2) 小児期の食物アレルギーの診断
- 3) 負荷試験の実際
- 4) 小児領域 栄養食事指導のポイント
- 5) 小児の気管支喘息の診断・検査
- 6) 小児の気管支喘息の治療・管理
- 7) 小児のアレルギー性鼻炎
- 8) アレルギー疾患の発症予防
(アトピー性皮膚炎と食物アレルギー)
- 9) アレルギー疾患の発症予防
(気管支喘息とアレルギー性鼻炎) (仮)



小児2 栄養食事指導のポイント



小児2 栄養食事指導のポイント



小児2 栄養食事指導のポイント

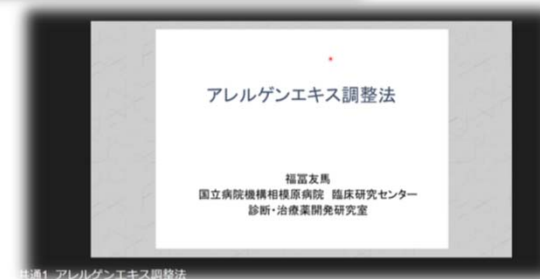
6.オンライン研修用コンテンツ（共通領域）



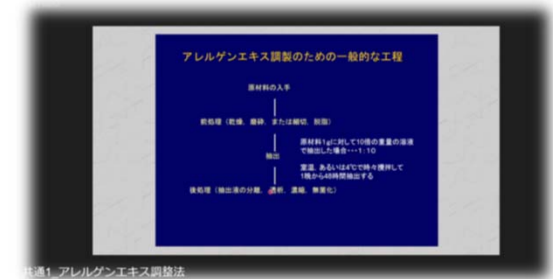
- 1) 皮膚プリック試験・皮下試験
- 2) パッチテスト
- 3) 呼吸機能検査
- 4) スキンケア
- 5) 吸入性抗原シリーズ ①ダニ・ペット
- 6) 吸入性抗原シリーズ ②花粉
- 7) 吸入性抗原シリーズ ③真菌（仮）
- 8) 吸入性抗原シリーズ ④昆虫（仮）
- 9) アレルゲンエキス調整法
- 10) アレルゲンコンポーネント
- 11) ダニ・スギアレルギーに対するアレルゲン免疫療法（仮）
- 12) 慢性じんましん（仮）
- 13) アナフィラキシーへの対応（仮）



共通1 アレルゲンエキス調整法



共通1 アレルゲンエキス調整法



共通1 アレルゲンエキス調整法

7.オンライン医療相談 (D to D)

<アレルギー拠点病院>



拠点病院のご所属の
先生方

- ✓ 症例に関するご相談
個々の症例の治療方針？
診断方法？
- ✓ 検査・診療体制の構築
に関するご相談



アドバイス

- ◇オンライン (web会議形式)
- ◇無料
- ◇何度でも可

<相模原病院>

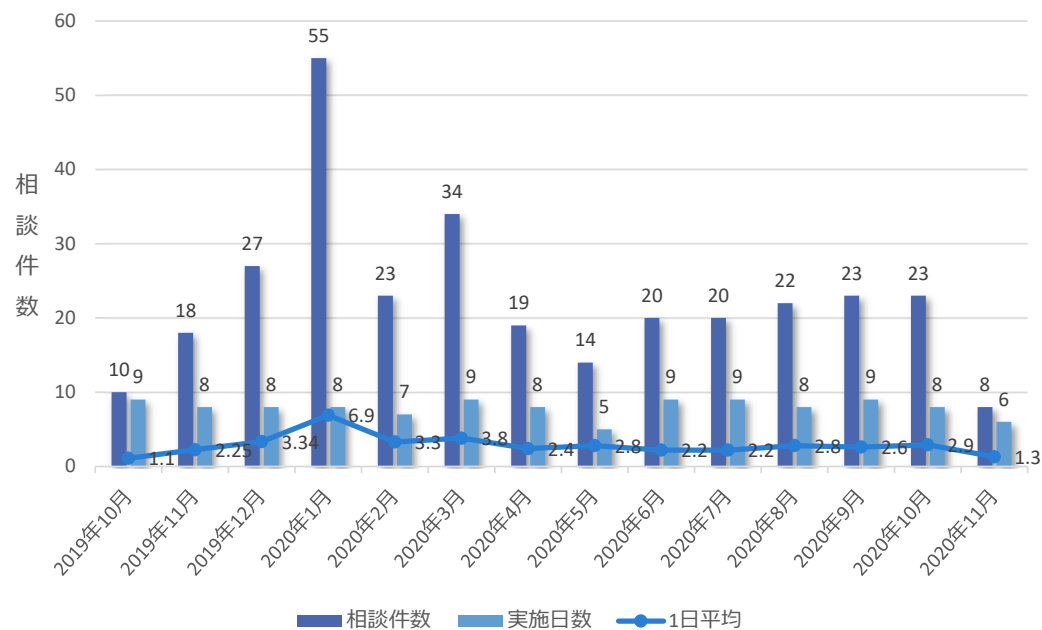


相模原病院の
小児科・内科医師

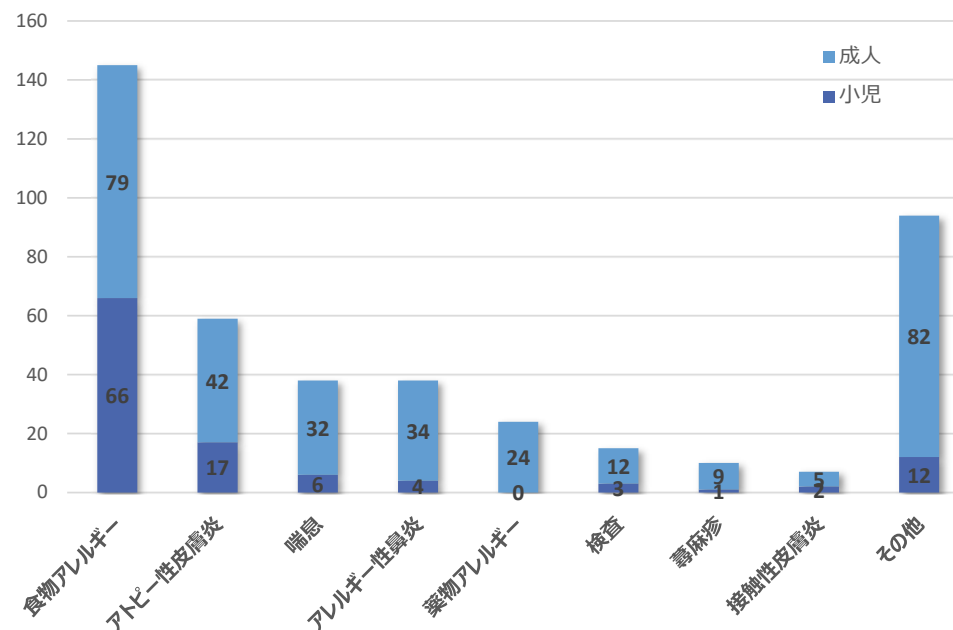
8.アレルギー医療電話相談：本年度実績

現在は日本予防医学協会へ委託しているが、今春より当院にて開始予定

電話相談事業 相談件数



2019年10月～2020年11月 項目別相談件数



- ・2020年1月は地方新聞にて電話相談事業の記事が掲載された為、相談件数が増加
- ・小児は食物アレルギーの件数が多く、成人の相談は多岐にわたっている

8.アレルギー医療電話相談：来年度の予定

- **開始日時**

2021年4月6日～

- **相談時間**

平日火曜日、水曜日 10-12時、14-16時

- **相談方法**

電話による相談

- **電話対応者**

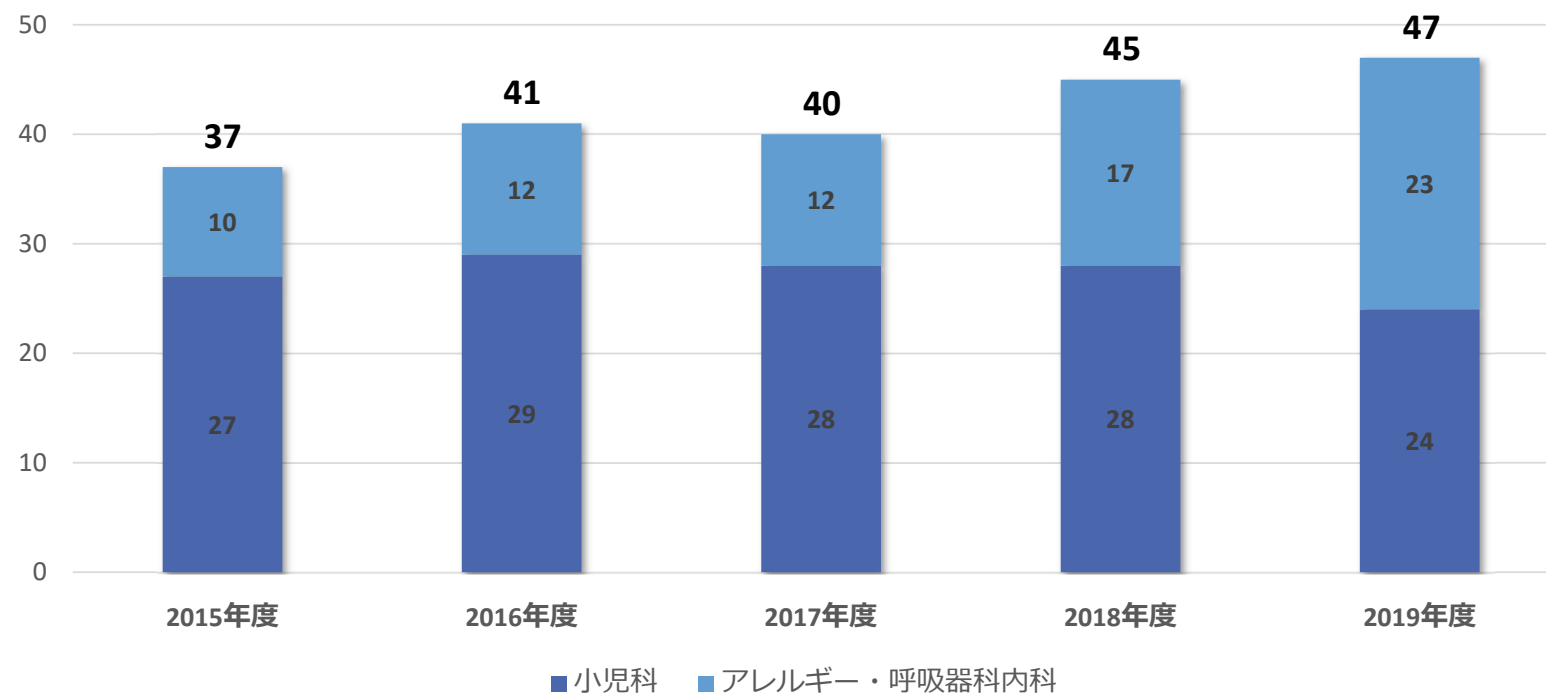
小児アレルギーエドゥケーター3名および経験豊富な看護師2名が対応、
回答が難しい場合には医師と相談の上、後日回答とする



9.研究実績

相模原病院 アレルギー関連 英文論文 掲載数 (2015～2019年度)

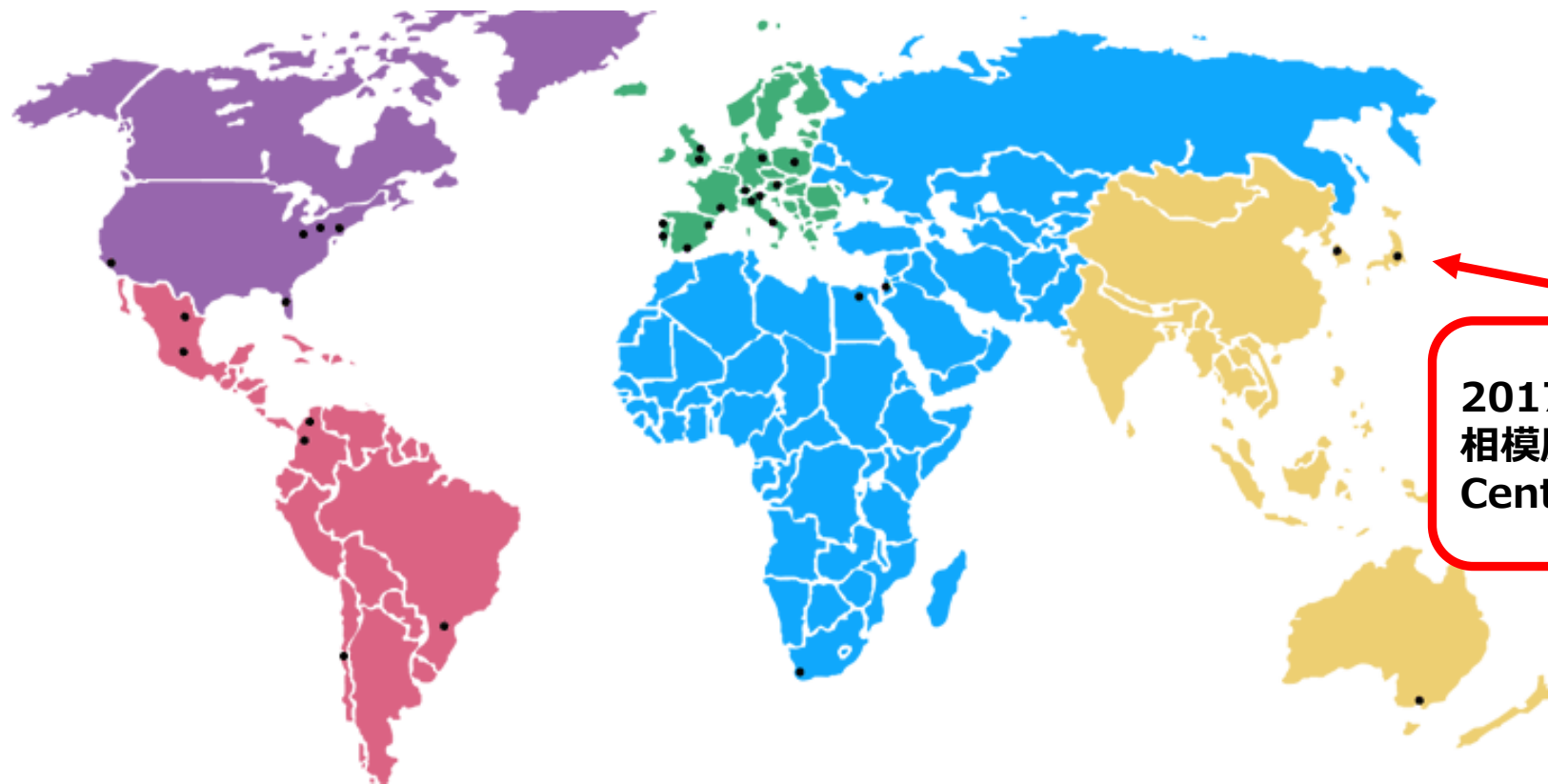
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
小児科	27	29	28	28	24
アレルギー・呼吸器内科	10	12	12	17	23



10.WAO認定 Center of Excellence



WAO Centers of Excellence は、アレルギー疾患と免疫疾患に関して卓越した教育、研究、トレーニングを
実践し、提供している施設が認定され、アジアでは7施設、日本では広島大学病院、国立成育医療研究センター、
国立病院機構相模原病院、大阪はびきの医療センターの4施設が認定されています



2017年WAOにおいて
相模原病院臨床研究センターが
Center of Excellenceに認定